

島を形作る：溶結凝灰岩と断層活動

この露頭は、火山灰粒子が溶けて激しい熱で融合してできた火砕岩の一種である、溶結凝灰岩でできています。この溶結凝灰岩は、約 10 cmの厚さの、より薄い色の、対角帯の凝灰岩 (A) に挟まれています。この帯は、いくつかの場所で、周囲の岩 (B) にある破断により破壊され、垂直に動いています。

爆発的噴火による火砕流によって溶結凝灰岩が形成されました。これらの極めて高温のガスと火山物質の高速の流れにより、閉じ込められた岩石の破片が溶けた熔融灰の層の下で軟化し圧縮されました。その結果、平たく、黒ずんだ細片が岩壁に見られるのです。

白い帯にある破断は、溶結凝灰岩が形成された後に生じた、断層活動の証拠です。

岩は、断層形成過程に加圧され、すりつぶされたため、断層線に沿ってきめ細かくなっています。